

三菱ダクト用換気扇

〔居間・事務所・店舗用〕

グリルタイプ	フルフラットインテリアタイプ			消音形 フルフラットインテリアタイプ	
形名	VD-15ZX13-Z	VD-15ZXP13-Z	VD-18ZXP13-Z	VD-18ZNP13-Z	VD-20ZNP13-Z
	VD-20ZX13-Z	VD-20ZXP13-Z		VD-23ZNP13-Z	VD-23ZNP13-Z
	VD-23ZX13-Z	VD-23ZXP13-Z			

据付説明書

販売店・工事店様用

据付けを始める前にこの説明書をよくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

別冊の「取扱説明書」はお客様用です。必ずお渡しく下さい。

- 据付け、壁穴工事はお買上げの販売店・工事店様が実施してください。
- 電気工事は電気工事士の方が実施してください。
- この製品は、居間・事務所・店舗の天井に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因となります。
- 形名によって据付け方法が異なりますので、据付け前に形名をご確認ください。
- この製品には市販の埋込スイッチ、またはシステム部材のコントロールスイッチが必要です。その他屋外フードなどは三菱換気送風機総合カタログをご確認の上、別途ご用意ください。
- 電子式スイッチ（半導体制御による速調・温度・湿度・タイマースイッチなど）やホタルスイッチをご使用の場合は組合せ上、不具合の発生するおそれがありますので、ご使用の際はあらかじめご確認ください。
- 接続ダクトは外形寸法図に示すダクト径の塩化ビニル管・アルミフレキシブルダクト・銅板管のいずれかをご用意ください。



1. 安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性のあるもの	注意	誤った取扱いをしたときに、軽傷または家庭・家財などの物的損害に結びつくもの
-----------	-----------------------------------	-----------	---------------------------------------

本文中や本体に使われている図記号の意味は次のとおりです。

	禁止		水ぬれ禁止		分解禁止		浴室での使用禁止		感電注意		指示に従う
--	----	--	-------	--	------	--	----------	--	------	--	-------

警告	
	●ガス漏れに気付いたときは、換気扇のスイッチの入・切をしない 爆発・引火の原因。
	●製品に直接水やお湯、かび取剤などをかけない ショート・感電の原因。
	●改造や工具を必要とする分解はしない 火災・感電・けがの原因。 分解・修理は修理技術者のいる販売店または当社のお客さま相談窓口にご相談ください。
	●電気工事の際、裸線に接触しない 感電の原因。
	●交流100Vを使用する 直流や交流100V以外を使用すると感電の原因。
	●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電氣的に接触しないよう据付ける 漏電した場合発火の原因。
	指示に従う

注意	
	●直接炎のあたるおそれのある場所や有機溶剤・可燃性ガスのある場所には据付けない 火災の原因。
	●台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。
	●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。
	●浴室など湿気の多い場所には据付けない 感電・故障の原因。
	指示に従う
	●据付けの際は必ず手袋を着用する けがの原因。
	●本体の据付けは十分強度のあるところを選んで確実に行う 落下によるけがの原因。
	●部品の据付けは確実に行う 落下によるけがの原因。
	●電気工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に 接続不良や誤った電気工事は感電・火災の原因。

2. 据付け前のお願い

注意	●台所・厨房・飲食店など、熱気や油煙が発生する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。 ●中性洗剤以外の洗剤・殺菌剤・消毒剤を頻繁に使用する場所には据付けない 本体・部品の落下によるけがの原因。
-----------	---

据付けにあたって

- ダクト用システム部材の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。
- 高温（40℃以上）になるところには据付けしないでください。早期故障の原因となります。
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 傾斜天井には据付けしないでください。シャッター開閉不良、振動、異常音の原因となります。
- 製品上部を断熱材などで覆わないでください。早期故障の原因となります。

据付位置

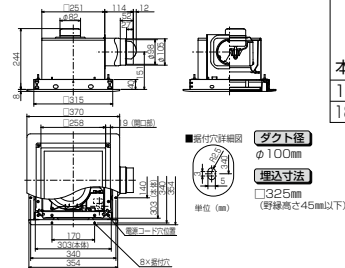
- グリルを取りはずしやすくするためグリル側面と部屋の壁面が150mm以上離れる位置に製品を据付けてください。

天井・ダクト工事

- 天井材は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものをご使用ください。
- 排気ダクトは雨水の浸入やドレン水の逆流を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下り勾配をつけてください。
- 次のようなダクト工事はしないでください。風量低下や異常音発生の原因となります。
 - 極端な曲げ
 - 多数の曲げ
 - ダクト接続口のすぐそばの曲げ
 - しぼり
- 製品脱着、ダクトテーピングやテーピングの取り外しには天井裏での作業が必要です。天井裏での作業ができるよう製品の近くに点検口を設けてください。点検口がない場合、製品取替えなどで天井などを壊す費用は、お客様のご負担となります。

3. 外形寸法図

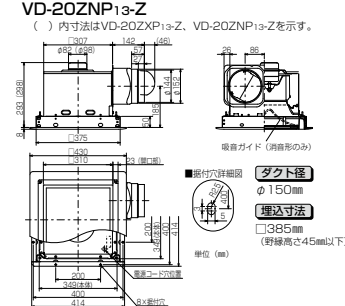
■VD-15ZX13-Z、VD-15ZXP13-Z



付属品	●天吊金具 (本体固定用)	●木ネジ (本体固定用)	●ドリルネジ (天吊金具取付用)
本体形名	2個	8本	2本
15タイプ	2個	8本	2本
18・20・23タイプ	4個	8本	4本

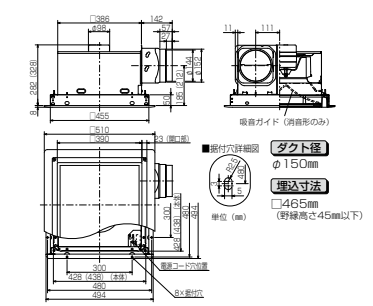
■VD-18ZX13-Z、VD-20ZX13-Z
VD-20ZXP13-Z

■VD-18ZNP13-Z、VD-20ZNP13-Z



■VD-23ZX13-Z、VD-23ZXP13-Z
■VD-23ZNP13-Z、VD-23ZNP13-Z

() 内寸法はVD-23ZXP13-Z、VD-23ZNP13-Zを示す。



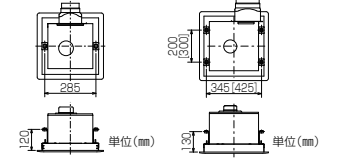
4. 据付方法

1 据付け前の準備

据付位置・壁排気穴位置を決め、市販の吊りボルト（M8またはM10）を4本埋め込む。（下図参照）

VD-15タイプ VD-18・20・23タイプ

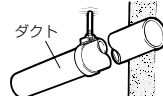
() 内寸法はVD-23タイプを示す。



2 ダクト工事

壁排気穴から本体のダクト接続口までダクト配管する。

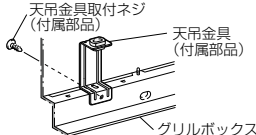
- ダクトはダクト接続口に力が加わらないよう天井より吊る。（力が加わるとシャッター開閉不良、風漏れの原因となります）
- ダクトに結露が発生する場所においては、ダクトに断熱処理を施してください。（結露により天井材を汚損する原因となります）



3 本体を吊る（野縁を使用する場合は野縁に据付ける場合を参照）

1 天吊金具を据付ける。

- グリルボックスの穴部に天吊金具の穴1か所を合わせ、内側から天吊金具取付ネジで固定する。

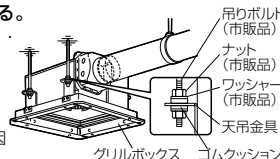


2 本体を水平にし、天吊金具を吊りボルトに据付ける。

- ナットがゆるまないよう市販品のワッシャー・ナットにて確実に固定する。

お願い

- 羽根を持って本体の据付けを行わないでください。（本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります）
- 下側のナットには緩み防止機能付ナットの使用や接着剤・緩み防止剤などにより緩み止めを施してください。

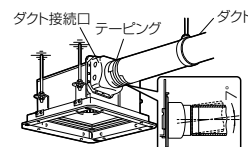


ダクト接続口とダクトを接続する。

- 塩化ビニル管と接続する場合、ダクト方向の微調整が可能です。（全方向7°）
- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

お願い

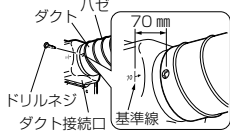
- ダクト接続口に無理な力が加わらないよう注意してください。（無理な力が加わるとシャッター開閉不良や風漏れの原因となります）



4. 据付方法 つづき

ネジでダクトを接続する場合

- 図のように矢印から水平に70mmの位置に市販のドリルネジで固定する。スパイラルダクトでハゼ部が上記70mmの位置にくる場合は、矢印から水平に60mmの位置に固定する。
 - ドリルネジの長さはダクトの種類に合わせ、右表を参照してください。シャッター開閉や固定不良の原因となります。
- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでネジの頭をテーピングする。



ダクト呼び径 φ100の場合		
ダクト外径(mm)	100~105 (スパイラルダクト)	106~110
ネジ呼び長さ	10	13
ダクト呼び径 φ150の場合		
ダクト外径(mm)	150(スパイラルダクト)	155~160
ネジ呼び長さ	10	13

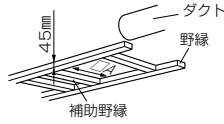
野縁に据付ける場合

野縁組立

- 図のように天井の野縁と補助野縁で据付枠を組む。(野縁高さを45mm以上で据付けると、シャッター開閉不良、異常音の原因となります)

お願い

- 天井がたわまないように、十分強度のある野縁に据付けてください。
- 野縁を組立てる際は、据付穴のピッチと据付穴の詳細図をご確認ください。A寸法が大きいと、木ネジが垂直に打てなくなり、野縁の割れによる固定不具合が発生します。



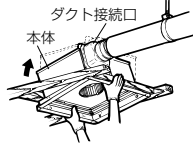
形名	A寸法
VD-15タイプ	325
VD-18・20タイプ	385
VD-23タイプ	465

本体の差し込み

- 本体を斜めに傾け、ダクト接続口から野縁内に差し込む。

お願い

- 羽根を持って本体の据付けを行わないでください。(本体に羽根があたり、異常音の発生や羽根破損の原因となります)

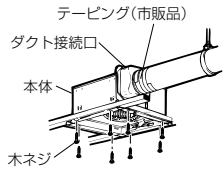


本体の固定

- 本体がダクト接続口に密着していることを確認してから、付属の木ネジ8本で本体をすき間のないようにしっかり固定する。(すき間があると風漏れの原因となります)
- 風漏れのないよう市販のアルミテープなどでダクト接続部をテーピングする。

お願い

- ダクト接続をネジで行う場合は**ネジでダクトを接続する場合**を参照してください。



野縁の強度が十分でない場合は同梱の天吊金具を併用してください。

4 電気工事

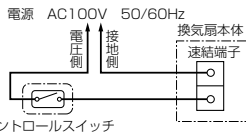
電線同士の接続や接地工事を行う場合は電気工事士の方が「電気設備に関する技術基準を定める省令(および同解説)」および「内線規程」に従い実施してください。

■ 結線図 (太線部分を結線する)

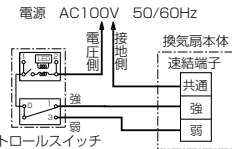
お願い

- 結線間違いや異電圧印加などの誤結線を行いますとモーターが故障します。誤結線によるモーター故障の場合、サービス費用(交換部品代含む)はおお客様ののご負担となりますので結線図を十分ご確認の上、結線してください。

● 単一風量機種



● 強弱切替機種

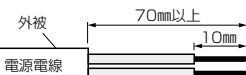


■ 適応コントロールスイッチ

本体形名 (単一風量機種)	コントロールスイッチ 形名	定格
VD-15タイプ VD-18タイプ VD-20ZX13-Z VD-20ZN13-Z	P-10SW ₂	4A-AC300V

本体形名 (強弱切替機種)	コントロールスイッチ 形名	定格
VD-20ZXP13-Z VD-20ZNP13-Z VD-23タイプ	P-02SW P-04SW ₂	4A-AC300V

- コントロールスイッチ(ランプ付)の仕様により、「強」「弱」切替えてランプの点灯が薄くなったりちらついたりすることがありますが異常ではありません。



■ 結線の前に

お願い

- 電源電線の外皮は70mm以上皮むきしてください。
- 電線被ふきは10mm皮むきしてください。端子カバーに刻印されている皮むき寸法図に合わせて皮むきすると便利です。(10mm以上むくと漏電の原因となります)
- より線を結線する場合は、棒状圧着端子(市販品)をより線に取付けてから速結端子に確実に差し込んでください。(導電部10mm未満の場合、結線部外れの原因となります)
- 電源電線は、接続部に力が加わらないよう本体付近で約150mmたるませて、本体上部のモーターに接触しないようにしてください。
- アース工事の際は、単線φ1.6またはより線1.25mm²をご使用ください。(圧着工具は日本圧着端子製YHT-2210をご使用ください)

● 電圧チェック表 (強弱切替機種の場合)

- 線間電圧が右記の電圧であることを確認してください。

スイッチ	線間電圧(V)	
	共通-強	共通-弱
切	0	0
入-強	100	0
入-弱	0	100

警告

- 電気工事の際、裸線に接触しない感電の原因。

● 電気配線の識別

- 電気結線を間違えるとモーターが故障します。特に「共通」への結線を間違えると、モーターの温度ヒューズが溶断します。
- 正しく結線するために、電気工事の際、各電源電線を識別できるようにしてください。

(識別例) 共通 強 弱



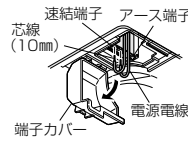
■ VD-15・18・20タイプの結線方法

- 本体上部のゴムブッシュより電源電線(屋内配線VVFケーブルφ1.6またはφ2)を通す。
- 端子カバーの取手部に指を掛け、下に引いて端子カバーを開け、速結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。(下図参照)
- 端子カバーを「パチン」と音がするまで押し込み、端子カバーが引掛部に確実に固定されていることを確認する。

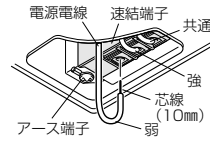
■ VD-23タイプの結線方法

- 本体上部のゴムブッシュより電源電線(屋内配線VVFケーブルφ1.6またはφ2)を通す。
- 端子カバーのネジ1本をゆるめて端子カバーをスライドさせてあげ、速結端子に皮むきした芯線を確実に奥まで差し込む。(下図参照)
- 端子カバーを端子カバーのあけ方と逆の手順で取付け、ゆるめたネジ1本を締め付け固定する。

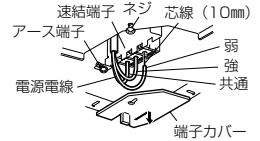
VD-15タイプ



VD-18,20タイプ



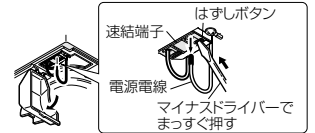
VD-23タイプ



※単一風量機種は弱の箇所には差し込み口はありません。上図の共通・強の差し込み口に電源電線を差し込みます。

● 電源電線をはずす場合

- マイナスドライバーで速結端子のはずしボタンをまっすぐ押しながら電源電線を引いてはずしてください。

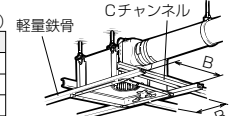


本体を野縁に据付けている場合は **7 天井材を張る** へつづく

5 軽量鉄骨を組む

軽量鉄骨と開口部補強用のCチャンネルで内寸がB寸法になるよう据付け枠を組む。

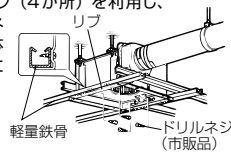
形名	B寸法
VD-15タイプ	325
VD-18・20タイプ	385
VD-23タイプ	465



6 本体の固定 (メンテナンスができるよう固定)

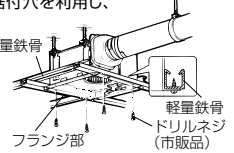
■ 軽量鉄骨がダクト配管と平行な場合

本体内部のリブ(4か所)を利用し、市販のドリルネジ4本で本体を軽量鉄骨に固定する。



■ 軽量鉄骨がダクト配管と垂直な場合

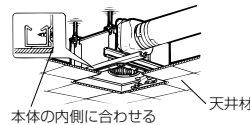
本体フランジ部の据付穴を利用し、市販のドリルネジ4本で本体を軽量鉄骨に固定する。



7 天井材を張る

■ 本体を軽量鉄骨に据付ける場合

- 天井材を張る。
- 本体の内寸法に合わせ、天井材に角穴を開ける。

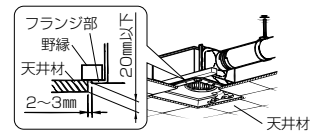


お願い

- 本体固定の際は本体と天井のすき間のないように固定してください。(すき間があると風漏れの原因となります)
- 天井材の厚さは20mm以下で据付けてください。(グリルが天井材に密着しない場合があります)

■ 本体を野縁に据付ける場合

- 天井材を張る。
- 本体のフランジ部分と天井材は必ず2~3mmのすき間があくよう角穴をあける。



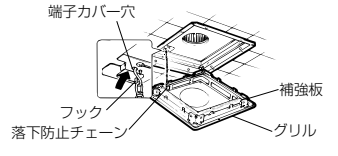
8 グリルの据付け

■ 落下防止チェーンを据付ける。

- グリル裏側にある刻印の指示位置に従って落下防止チェーンのフックを端子カバーの穴に引掛ける。

お願い

- グリルの4隅に取付けられている補強板は取りはずさないでください。

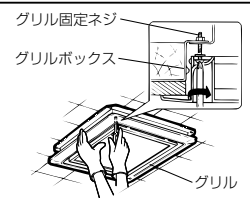


■ グリルを据付ける。

- グリルをグリルボックス内に押上げ、グリル固定ネジ(4本)で天井面に密着するように軽く締め付ける。

お願い

- グリル固定ネジを強く締めすぎると、グリルの変形・破損による落下のおそれがありますので、据付けの際にはご注意ください。



別冊の「据付説明書」グリルの調整」へ つづく



三菱ダクト用換気扇

2203876H81301

〔居間・事務所・店舗用〕

グリルタイプ	フルフラットインテリアタイプ		消音形 フルフラットインテリアタイプ	
形名	VD-15ZX ₁₃ -Z	VD-15ZXP ₁₃ -Z	VD-18ZXP ₁₃ -Z	VD-18ZNP ₁₃ -Z
	VD-20ZX ₁₃ -Z	VD-20ZXP ₁₃ -Z	VD-20ZN ₁₃ -Z	VD-20ZNP ₁₃ -Z
	VD-23ZX ₁₃ -Z	VD-23ZXP ₁₃ -Z	VD-23ZN ₁₃ -Z	VD-23ZNP ₁₃ -Z

据付説明書

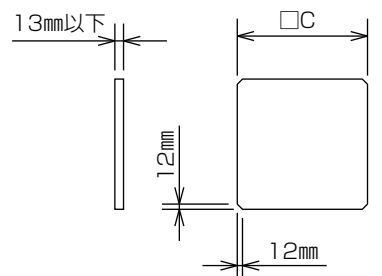
販売店・工事店様用

グリルの調整

パネルの変更

1 天井材を切断する。

下表を参考に天井材を切断する。



単位 (mm)

形名	C寸法	天井材質
VD-15タイプ	248	0.6kg以下
VD-18・20タイプ	300	0.8kg以下
VD-23タイプ	380	1.3kg以下

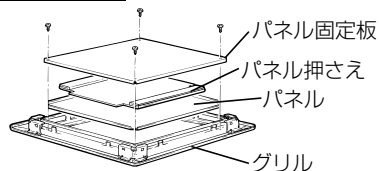
お願い

- 天井材は厚さ13mm以下のものを使用してください。
- 天井材は重たいもの・割れやすいものは避けてください。

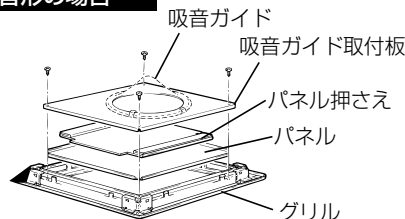
2 グリルを分解する。

- パネル固定板（吸音ガイド取付板）のネジ4本をはずして、パネル固定板（吸音ガイド取付板）、パネル押さえ、パネルの順に取りはずす。

消音形以外の場合



消音形の場合



3 グリルを組立てる。

天井材とパネルを入れ替え、天井材の厚みに応じてパネル押さえ端部の折返し部を切り取り、すき間のないように組立てる。

- パネル固定板（吸音ガイド取付板）を取付ける際、パネル固定板（吸音ガイド取付板）とグリル裏側の刻印「端子カバー側」が同じ位置になるように取付ける。

お願い

- 消音形タイプのグリル裏側に取付けてある吸音ガイドはこわれやすいものです。取扱いには十分注意してください。

5. 試運転およびお客様への説明

- コントロールスイッチがある場合は、切/入、強/弱切り替えが正しくできるか確認してください。
- 異常な音や振動がないか確認してください。

お客様への説明

別冊の取扱説明書に従って、正しい使い方をお客様、発注者（オーナー、ゼネコン）または管理者に説明してください。

6. 修理を依頼する前に

■試運転時に、次のような症状があれば点検してください。

こんなとき	原因	点検・処置
電源スイッチを入れても羽根が回転しない 強/弱どちらか動かない	分電盤のブレーカーが「切」になっている	ブレーカーを「入」にする
	正しく結線されていない	結線を確認する（スイッチ部/電源線接続部） ※換気扇にAC100Vが供給されていることを確認する ※「共通」への結線が正しく接続されていることを確認する ※別冊の「据付説明書 4 電気工事」の電圧チェック表を確認する
運転中に異常な音や振動がする	本体・グリルが確実に据付けられていない	正しく据付け直す
	羽根・グリルに異物が付着している	異物を取り除く
	本体の固定（天吊金具・ネジ止め）が弱い	本体の固定を確認する
	換気風路の抵抗が大きい（ガラリ・アンダーカット）	ガラリ・アンダーカットを開けて給気する
	換気風路の抵抗が大きい（ダクト配管）	ダクトのつぶれ、急な曲がりを修正する
	換気風路の抵抗が大きい（屋外フード）	屋外フードのほこりを清掃する（特にリフォーム時）

三菱電機株式会社

中津川製作所 〒508-8666 岐阜県中津川市駒場町1番3号